

2019年4月12日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

区分：その他

号機	3号機		
件名	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の定例試験中の出力低下について（続報）		
(発生状況)	<p>2019年4月10日、3号機原子炉建屋地下1階（非管理区域）において、定例試験のために高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機*を起動し確認運転を実施していたところ、14時40分に、発電機を系統に接続した際に、出力が1,200 kWから0 kWに低下したため、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を系統から切り離しました。</p> <p>その後、現場において外観、制御の状況を確認し、現時点において異常は確認されておりませんが引き続き調査を行うこととし17時15分に停止の判断をしました。</p> <p>3号機の非常用ディーゼル発電機は、安全上重要な機器に該当しますが、現時点において保安規定に基づく機能要求台数は、他の2台（A、B）にて満足しています。</p>		
(2019年4月10日お知らせ済み)			
不適合の概要	<p>本日（4月12日）、出力低下事象の再現確認のため3号機高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の定例試験を実施しました。その結果、同様な出力低下は再現せず、当該ディーゼル発電機に異常は確認されなかったことから、安全上重要な機器の機能は維持されていると判断しました。</p> <p>出力低下の原因については、系統周波数の変動により影響を受けたものと考えております。</p> <p>なお、今回の事象による外部への放射能の影響はありません。</p>	<p>* 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機</p> <p>所内電源喪失時に高圧炉心スプレイ系で使用する負荷へ電源を供給するためのディーゼルエンジン駆動の非常用発電機。定格出力は3,600 kW</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要 <input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要 <input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>	
対応状況	今後も定例試験により、機能確認を実施してまいります。		